令和３年度　第９回理事会

日　時：令和３年１２月３日（金）１６：３０～

場　所：森林整備センターAB 会議室（川崎市）

Ⅰ．報　告

１．職員給与の改定及び令和３年１２月の特別給支払いについて（非公表）

２．令和３年度補正予算案の概要について

３．令和３年度特定母樹等普及促進会議の開催状況について

４．令和３年度第２回森林保険センター統合リスク管理委員会審議概要について
（非公表）

Ⅱ．その他

１．今後の行事予定について

２．主要行事

３．令和３年１１月に森林総合研究所が広報した研究成果

Ⅰ－2

理　事　会　資　料
令和３年１２月３日
総　合　調　整　室

令和３年度補正予算案の概要について

令和３年度補正予算案は、令和３年１１月２６日に閣議決定され、その概要は別紙のとおりです。

令和３年度補正予算（第１号）の概要

令和３年１１月２６日閣議決定

Ⅰ．新型コロナウイルス感染症の拡大防止　186,059億円

1．医療提供体制の確保等　44,783億円

○ 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金（病床確保等）〔20,314億円〕
○ 新型コロナウイルスワクチンの接種体制の整備・接種の実施〔12,954億円〕
○ 治療薬の確保〔6,019億円〕　等

2．感染症の影響により厳しい状況にある方々の事業や生活・暮らしの支援　141,276億円

（１）事業者への支援

○ 事業復活支援金〔28,032億円〕　○ 資金繰り支援〔1,403億円〕（既定経費の活用を含めると30,245億円）
○ 時短要請等に応じた飲食店等への協力金等（地方創生臨時交付金）〔64,769億円〕　等

（２）生活・暮らしへの支援

○ 住民税非課税世帯に対する給付金〔14,323億円〕
○ 緊急小口資金等の特例貸付〔4,581億円〕　○ 新型コロナウイルス生活困窮者自立支援金〔937億円〕
○ 学生支援緊急給付金〔675億円〕　○ 住居確保給付金〔100億円〕
○ 雇用調整助成金の特例措置等〔6,547億円〕　○ 雇用保険財政の安定〔17,422億円〕　等

（３）エネルギー価格高騰への対策

○ 輸送用燃料に係る負担軽減制度等〔800億円〕（既定経費の活用を含めると893億円）　等

Ⅱ．「ウィズコロナ」下での社会経済活動の再開と次なる危機への備え　17,687億円

1．安全・安心を確保した社会経済活動の再開　8,336億円

○ 「新たなGo Toトラベル事業」〔2,685億円〕（既定経費の活用（含む地域観光事業支援）を含めると13,239億円）
○ 予約不要の無料検査の拡大（地方創生臨時交付金）〔3,200億円〕　等

2．感染症有事対応の抜本的強化　9,351億円

○ ワクチン・治療薬の研究開発・生産体制の整備〔7,355億円〕　等

Ⅲ. 未来社会を切り拓く「新しい資本主義」の起動　82,532億円

1. 成長戦略　62,579億円

（１）科学技術立国の実現

○ 大学ファンド〔6,111億円〕　○ ムーンショット型研究開発〔800億円〕
○ ポスト５Ｇ情報通信システム基盤強化研究開発事業（最先端半導体等の技術開発）〔1,100億円〕
○ 宇宙分野の研究開発の推進等〔933億円〕　○ 蓄電池の国内生産基盤の確保〔1,000億円〕　等

（２）地方を活性化し、世界とつながる「デジタル田園都市国家構想」

○ 地方のデジタルインフラ整備〔571億円〕　○ マイナポイント第２弾（仮称）〔18,134億円〕
○ デジタル田園都市国家構想関連地方創生交付金（仮称）〔660億円〕
○ 中小企業等事業再構築促進事業〔6,123億円〕　○ 中小企業生産性革命推進事業〔2,001億円〕
○ 農林水産業の輸出力強化、成長力強化〔3,200億円〕　等

（３）経済安全保障

○ 先端半導体の国内生産拠点の確保〔6,170億円〕
○ 経済安全保障重要技術育成プログラム（ビジョン実現型）〔2,500億円〕　等

2. 分配戦略 ～安心と成長を呼ぶ「人」への投資の強化～　19,952億円

○ 子育て世帯に対する給付〔12,162億円〕（11/26コロナ予備費使用分を含めると19,473億円）
○ 労働移動の円滑化・人材育成の強力な推進〔640億円＊〕（特別会計分を含めると0.1兆円程度）
○ 看護、介護、保育、幼児教育などの現場で働く方々の収入の引上げ〔2,600億円〕
○ 保育・放課後児童クラブの受け皿整備〔618億円〕　等

Ⅳ. 防災・減災、国土強靱化の推進など安全・安心の確保　29,349億円

○ 防災・減災、国土強靱化のための５か年加速化対策（公共事業関係費）〔12,539億円＊〕
○ 災害復旧〔4,870億円〕　○ 自衛隊の変化する国際情勢への即応的な対応等〔7,354億円〕　等

■ 補正予算の追加歳出 計　315,627億円

＊　他の柱に整理されている事業も含んだ金額

（参考１）令和３年度補正予算（第１号）においては、上記「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」の実行に係る国費に加え、地方特例交付金、国際分担金等の追加財政需要〔2,135億円〕等を計上。
（参考２）上記のほか、労働保険特別会計における3,841億円の歳出追加等を計上。

令和3年度　林野関係補正予算の概要

林野関係合計	1,242	億円
うち　総合的なTPP等対策	498	億円

（単位：百万円）

区　　分	公　共	非公共	計
森林整備事業・治山事業	76,700		76,700
森林整備事業 （うち275億円は総合的なTPP等対策）	46,100		46,100
治山事業	30,600		30,600
山林施設災害復旧等事業	25,223		25,223
木材産業国際競争力・製品供給力強化緊急対策 （うち275億円は森林整備事業（再掲））	27,500 （再掲）	22,004	49,504 （再掲含む）
「緑の雇用」新規就業者育成推進事業		283	283
合　　計	101,923	22,287	124,210

（注）１　上記のほか、
①スマート農林水産業の全国展開に向けた導入支援事業に林野関係事業を措置。
②盛土による災害の防止に向けて、盛土総点検で確認された危険が想定される盛土の対策について、行為者等による是正措置を基本とし、公共として切迫した危険性のある箇所の緊急的な対策として詳細調査（応急対策工事を含む）の実施を支援。
※農山漁村地域整備交付金（令和3年度当初予算）の制度拡充による運用

２　金額は、関係ベース。デジタル庁計上の政府情報システム予算を含む。

３　計数は、四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。

令和３年度林野関係補正予算の重点事項

３年度補正１，２４２億円

１　「総合的なＴＰＰ等関連政策大綱」に基づく施策の実施

⑴　次世代を担う経営感覚に優れた担い手の育成

①　農林水産業の担い手の確保・育成

・林業への新規就業者の確保・定着化や育成に向け、ガイダンスの開催、トライアル雇用（短期研修）、伐採作業に加え造林作業を行う多技能化に対応した人材育成等の取組を支援

（「緑の雇用」新規就業者育成推進事業）
３億円

②　次世代を担う農林漁業者の生産性向上支援

１００億円
（スマート農林水産業の導入支援）
７７億円
（担い手確保・経営強化支援事業）
２３億円

・ポストコロナを見据え、農林水産物の輸出や需要構造の変化、デジタル化、中山間地域等の人口減少等に対応し、生産基盤の維持・強化を図るため、規模の大小に関わらず、生産性向上に取り組む農林漁業者等に対し、必要な機械・施設の導入を支援

⑵　合板・製材・構造用集成材等の木材製品の国際競争力の強化

①　木材産業国際競争力・製品供給力強化緊急対策＜一部公共＞

４９５億円

・合板・製材・構造用集成材等の国際競争力を強化するため、加工施設の大規模化・高効率化や輸出向け等の高付加価値品目への転換、路網整備や高性能林業機械の導入、搬出間伐、再造林、エリートツリー等の苗木の生産施設整備、木材製品等の輸出促進、非住宅分野の木造化等の推進による木材製品の消費拡大等を支援するとともに、今般の木材不足・価格高騰（いわゆるウッドショック）への対応として製品の供給力増大のための乾燥施設の能力向上等や、国産の製品等への転換促進等を支援

２　防災・減災、国土強靱化と災害復旧等の推進

⑴　防災・減災、国土強靱化の推進

①　治山施設の設置等による対策＜公共＞　　３０６億円

・森林の防災・保水機能を適切に発揮するため、山地災害危険地区や氾濫した河川の上流域等において、治山施設の整備等による流木・土石流・山腹崩壊の抑制対策等を実施・支援

②　森林整備による対策＜公共＞　　１８６億円

・森林の防災・保水機能を適切に発揮するため、重要なインフラ施設の周辺や氾濫した河川の上流域等での間伐等や、林道の開設・改良等の対策を実施・支援

⑵　令和３年８月の大雨等の災害からの復旧・復興

①　災害復旧等事業＜公共＞　　２５２億円

・被災した治山施設、林道施設等の速やかな復旧等を実施・支援

②　盛土による災害の防止＜公共＞

・盛土総点検で確認された危険が想定される盛土の対策について、行為者等による是正措置を基本とし、公共として切迫した危険性のある箇所の緊急的な対策として詳細調査（応急対策工事を含む。）の実施を支援
※農山漁村地域整備交付金（令和３年度当初予算）の制度拡充による運用

18 木材産業国際競争力・製品供給力強化緊急対策＜一部公共＞

【令和３年度補正予算額 49,482百万円】
【令和３年度補正予算額（デジタル庁計上） 22百万円】

＜対策のポイント＞

木材製品の国際競争力の強化や新たな農林水産物の輸出目標の達成に向け、**加工施設の大規模化・高効率化**等を支援します。また、これらの加工施設へ原木を低コストで安定的に供給するとともに、**森林資源の安定確保や森林吸収源対策の取組の加速化**を図るため、**路網整備**、**高性能林業機械の導入**、**搬出間伐**、**再造林**、**エリートツリー等の苗木の生産施設整備**等の取組を支援します。加えて、**木材製品の消費拡大**や**新技術の実証**とともに、木材製品等の**輸出拡大に向けた取組**等を支援します。さらに、今般の**木材不足・価格高騰（いわゆるウッドショック）への緊急的な対応に資する取組**を支援します。

＜政策目標＞

国産材の供給・利用量の増加（31百万㎥［令和元年度］→42百万㎥［令和12年度まで］）

＜事業の内容＞

１．木材産業国際競争力強化対策 等＜一部公共＞ **44,202百万円**

① 木材産業の輸出促進・体質強化対策

木材製品の国際競争力の強化や輸出拡大に向けた**加工施設の大規模化・高効率化**、**他品目転換**、**高付加価値化**等を支援します。加えて、いわゆる**ウッドショックへの緊急的な対応として、ボトルネックとなっている乾燥施設の能力向上**等の施設整備を支援します。

② 原木の低コスト安定供給対策 等＜一部公共＞

大径材を含む原木を加工施設へ低コスト・安定的に供給するとともに、森林資源の安定確保や森林吸収源対策の取組の加速化を図るため、**路網整備**、**高性能林業機械の導入**、**搬出間伐**、**再造林**、**エリートツリー等の苗木の生産施設整備**等を支援します。

２．木材製品等の輸出支援対策 等 **500百万円**

輸出も含めた販売力強化のための人材育成、**輸出先国のニーズ・規格等に対応した製品開発**や**性能検査・実証**、**輸出先国への重点プロモーション活動**等を支援します。このほか、国内におけるクリーンウッド法に基づく**合法性確認の定着実態調査**や流通木材の**合法性確認システムの構築に向けた調査**等を実施します。

３．木材製品の消費拡大対策 等 **4,802百万円**

非住宅分野等の外構部も含めた**木造化・木質化**等を推進するとともに、いわゆる**ウッドショックへの緊急的な対応として、国産の製品等への転換促進**を支援します。**伐採等の自動化・遠隔操作技術、異分野技術の導入・実証**等を支援します。

＜事業の流れ＞

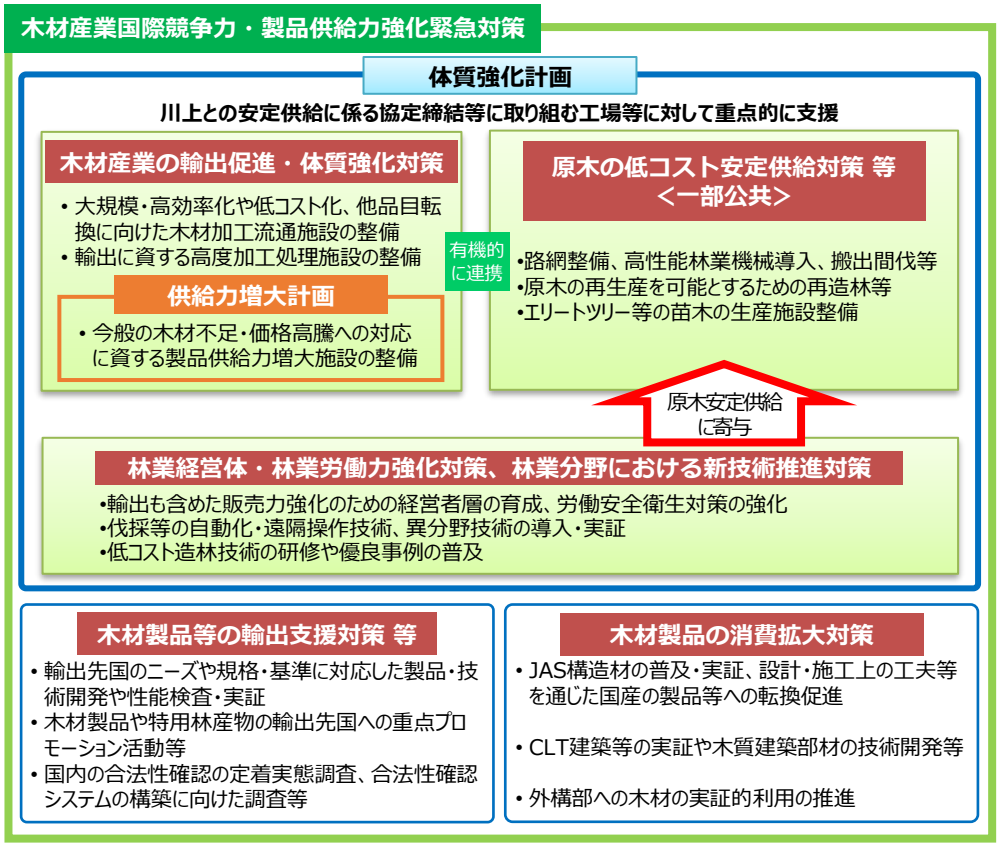
国 →（定額（1/2以内等）等）→ 都道府県 →（定額（1/2以内等）等）→ 木材関連業者等（１の事業の一部）

国 →（定額等又は委託）→ 民間団体等 →（定額、1/2以内等）→ 民間団体等（２、３の事業）

国 →（補助）→（国研）森林研究・整備機構（１の事業の一部）

※国有林においては、直轄で実施

＜事業イメージ＞



［お問い合わせ先］林野庁計画課（03-6744-2300）

○ エリートツリー等の原種苗木増産施設整備（国立研究開発法人森林研究・整備機構施設整備費補助金）

【令和３年度補正予算額　200,080千円】

＜対策のポイント＞

木材産業の国際競争力強化に向け、原木の安定供給と森林資源の安定確保を図る観点から、成長等に優れたエリートツリー等の原種苗木を増産するための施設整備を行う。

＜事業の内容＞

○ 挿し木高速増殖用養苗温室整備　144,080千円

ミスト散水等により挿し木苗木を高速で増殖する新技術「エアざし」の設備を装備した原種苗木増産用の温室を、九州と関西の育種場に設置する。

○ 増殖拠点整備　31,000千円

発根率や活着率が最もよい状態で出荷できるように穂木や原種苗木を一定期間低温貯蔵するための施設を、北海道育種場で整備する。

○ 人工気象制御温室整備　25,000千円

適地植栽により気象要因による枯死や成長不良を防ぐことを目的として、林木育種センターが配布する原種苗木について、苗木時点での様々な気象要因に対する耐性の有無に関する情報を付加するための施設を整備する。

＜事業の流れ＞

国 →（補助）→ 国立研究開発法人森林研究・整備機構

＜事業イメージ＞

挿し木高速増殖用養苗温室

人工気象制御温室

増殖拠点
（低温貯蔵施設）

低温貯蔵に係る準備作業

［お問い合わせ先］林野庁研究指導課（03-6744-2312）

森林整備による防災・減災対策＜公共＞

うち水源林造成事業　4,800百万円

【令和３年度補正予算額　18,600百万円】

＜対策のポイント＞

森林の防災・保水機能の発揮のため、**山地災害危険地区周辺や氾濫した河川の上流域等での間伐**等のほか、防災機能の強化に向けた**林道の開設・改良**等を推進するとともに、**重要インフラ施設周辺の森林整備を効率的に支援**します。

＜事業目標＞

森林吸収量2.7%（平成25年度総排出量比）の確保に向けた間伐の実施（令和３年度から令和12年度までの10年間の年平均：45万ha）

＜事業の内容＞

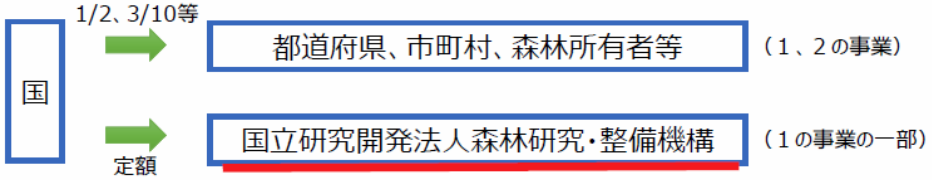
1．激甚化する災害を踏まえた防災・減災対策

森林の防災・保水機能を発揮させるため、流域治水の取組等とも連携しつつ、**山地災害危険地区や重要インフラ施設の周辺、氾濫した河川上流域等を対象に間伐等の森林整備**を推進するとともに、**防災機能の強化に向けた林道の開設・改良等**を推進します。

2．重要インフラ施設周辺の森林整備の効率化

私有林において、所有者とインフラ施設管理者、自治体等が協定を締結して行う**重要インフラ施設周辺森林整備を実施する際に、近接する公有林も一体的に整備**を行い重要インフラ施設周辺の森林整備を支援します。

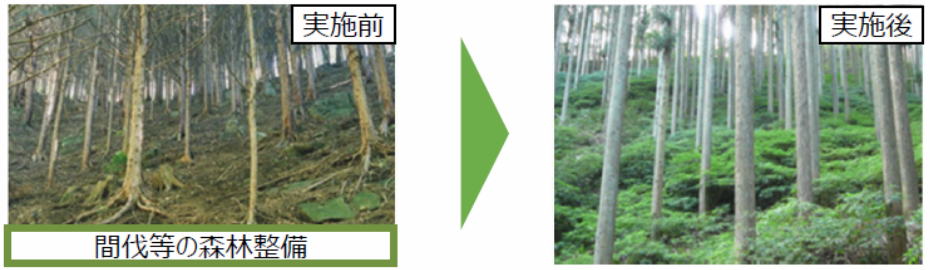
＜事業の流れ＞

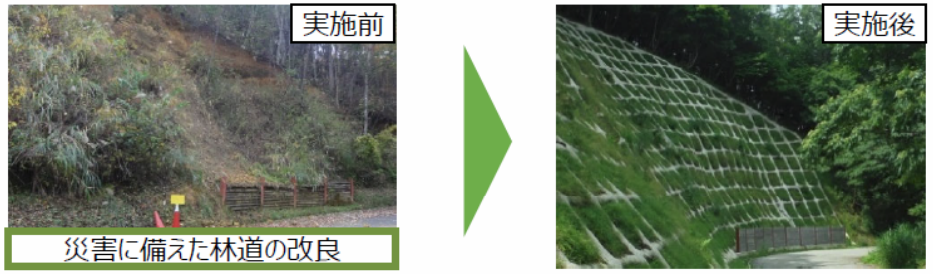


※　国有林においては、直轄で実施

＜事業イメージ＞

1．激甚化する災害を踏まえた防災・減災対策





2．重要インフラ施設周辺の森林整備の効率化

［お問い合わせ先］林野庁整備課（03-6744-2303）

令和３年 12 月３日
理　事　会　資　料
林木育種センター

令和３年度特定母樹等普及促進会議の開催状況について

１．会議の趣旨

本会議は、平成 25 年度の間伐等特措法の改正により特定母樹制度が導入されたことを契機とし、特定母樹等の早期普及に向けた取組を地域において推進するため、特定母樹の指定・増殖状況や性能、採種園・採穂園の整備状況等について、関係者間での情報共有を図るとともに、特定母樹等の開発や関連技術等に関するニーズを把握することを目的として、林木育種センター及び各育種場の主催により、平成 27 年度から育種基本区ごとに開催している。

今年度は、Web 会議等により開催した。

２．参加者

林野庁、森林管理局、都道府県、認定特定増殖事業者、林業団体、森林総合研究所関係領域・支所、森林整備センター、森林保険センター

３．開催状況

育種基本区ごとの開催時期等は以下のとおり。全体でおよそ 300 名が参加。

（１）北海道地区：　９月２２日（水）　※Web 会議

（２）東北地区　：　９月２８日（火）　※Web 会議

（３）関東地区　：　７月３０日（金）　※Web 会議

（４）関西地区　：１０月　４日（月）　※Web 会議

（５）九州地区　：１１月　９日（火）　※資料配付による書面開催

４．主な説明事項

- エリートツリー等の開発や特定母樹の指定・普及に係る状況及びそれらの特性情報等
- 特定母樹の試験植栽及び展示林設定に向けた協力依頼
- 認定特定増殖事業者及び関係機関による取組状況
- 森林保険制度の概要説明（森林保険センター）

５．主な意見・要望等

・北海道の主要な造林樹種であるカラマツ等の特定母樹の開発の推進。

・採種園造成のニーズに対応した技術支援及び原種の計画的・安定的な供給の確保をお願いしたい。

・特定母樹が将来本当に良材になるのか等、引き続き幅広い視点での特性の把握・整理・データの共有が必要。

・少花粉品種の特性を持つヒノキの特定母樹の開発・指定をお願いするとともに、特定母樹の育苗特性や着花特性についての情報を整理し、共有して欲しい。

・今後、特定母樹等（花粉症対策品種を含む）の苗木の増産を推進していく中で、苗木のトレーサビリティをどのように考えていくべきか検討の必要がある。

６．開催状況

（関東地区）共同研究試験地の動画配信の様子

（関西地区）Web 会議の様子

令和3年12月理事会資料
国立研究開発法人
森林研究・整備機構

今後の行事予定について

日　付	研究	整備	保険	行　事　名　等	場　所　等
12月7日～ 12月8日	○			再造林の省力化とシカ対策に関する現地検討会 （関西支所 共催）	和歌山県田辺市 和歌山県すさみ町
12月10日	○			森林総合研究所関西支所 業務報告会	関西支所
12月10日	○			森林総合研究所四国支所 業務報告会	四国支所
12月13日	○			森林総合研究所多摩森林科学園 業務報告会	多摩森林科学園
12月16日 ～17日	○			森林総合研究所東北支所 業務報告会	東北支所
1月7日	○	○	○	第10回理事会	森林総合研究所
1月24日		○		事業運営会議	森林整備センター
1月24日			○	保険運営会議	森林保険センター
1月24日～ 1月25日		○		整備局長会議	森林整備センター
1月27日	○			SATテクノロジー・ショーケース2022	つくば国際会議場

会議については、新型コロナウイルス感染拡大状況により時期および開催手法が変更となる場合がある

主要行事（令和3年11月12日～令和3年12月2日）

月　日	行 事 内 容	出 席 者
11月12日	【共】第8回理事会	理事長、各理事、森林保険センター所長、両監事
15日（月）～17日（水）	【育】九州育種場ほか出張	育種事業・森林バイオ担当理事
16日（火）～17日（水）	【研】地域再生シンポジウム（岐阜県飛騨市）	理事長
18日（木）	【研・育】第2回研究企画・運営会議	理事長、理事（企画・総務・森林保険担当、研究担当、育種事業・森林バイオ担当）、両監事
〃	【共】機構評議会	理事長、各理事、森林保険センター所長、両監事
19日（金）	【共】機構会議・支所長・育種場長・整備局長等会議	理事長、各理事、森林保険センター所長、両監事
〃	【研】地域情勢交換会議	理事長、企画・総務・森林保険担当理事、研究担当理事
24日（水）	【保】統合リスク管理委員会	企画・総務・森林保険担当理事、森林保険センター所長
26日（金）	【研】国立研究開発法人協議会総会（Web）	理事長
29日（月）～12月1日（水）	【研・整】育成複層林等の視察（熊本県人吉市ほか）	理事長、森林業務担当理事

※ 【研】：森林総合研究所、【育】：林木育種センター、【整】：森林整備センター、【保】：森林保険センター、【共】：共通の行事　の略

令和3年11月に森林総合研究所が広報した研究成果

番号	広報タイトル	研究者・担当者名	掲載誌名	論文公開時期	備考
1	「自然を基盤とした解決策」推進のためのアジア地域におけるガバナンスの課題を解明	森田 香菜子 （生物多様性・気候変動研究拠点）	Politics and Governance、Volume 9、Issue 4、Pages 102-113	2021年10月	HP（研究成果）に掲載
2	先駆樹種であるシラカンバの成長は二酸化炭素で促進されるが、オゾンによって抑制される	北尾 光俊 （北海道支所）	Forests、12(6)、675	2021年5月	HP（研究成果）に掲載
3	無花粉スギの組織培養のための簡易かつ迅速な選抜手法を開発	鶴田 燃海 （樹木分子遺伝研究領域）	Frontiers in Plant Science, 12:748110	2021年10月	HP（研究成果）に掲載
4	林業機械の自律走行に必要な位置情報の取得誤差を明らかにした	有水 賢吾 （林業工学研究領域）	森林利用学会誌、36(4)、63-68、森林利用学会	2021年10月	HP（研究成果）に掲載
5	古くなったゴム林の植え替えは土壌中の炭素を減らさない	鳥山 淳平 （九州支所）	Agriculture、Ecosystems and Environment、323、107699	2022年1月	HP（研究成果）に掲載
6	土砂災害が発生する危険性の高い雨の降り方を判定する	森林防災研究領域 治山研究室 研究員 經隆 悠	Earth Surface Processes and Landforms	2021年9月	HP（プレスリリース）に掲載
7	東南アジア熱帯林の形成過程を解明 ～フタバガキ科樹種の遺伝的解析で、今後の保全にも貢献～	樹木分子遺伝研究領域 上野 真義	Tree Genetics & Genomes	2021年10月	HP（プレスリリース）に掲載
8	土壌動物の多くは落葉分解者として機能していない？ ―トビムシの餌炭素年齢から従来の常識が覆る―	森林昆虫研究領域昆虫生態研究室 主任研究員 藤井佐織	Biology Letters、17巻9号	2021年9月	HP（プレスリリース）に掲載
9	分布の中心で、メスジカを捕らえる ―個体群の分布域周辺部にはオスが、中央部にはメスが多い―	九州支所森林動物研究グループ 研究員 鈴木圭	Journal of Forestry Research	2021年10月	HP（プレスリリース）に掲載

（シンポジウム・イベント）

番号	名称	担当	主催等	開催場所	開催日	備考
1	アグリビジネス創出フェア2021に出展します	研究管理科産学官連携・知財戦略室	農林水産省 後援：(国研)森林研究・整備機構	東京ビッグサイト青海展示棟、及びオンライン	2021年11月24日～2021年11月26日（青海展示棟、オンライン会場共に）	HP（イベント）に掲載
2	2021年度 森林総合研究所公開講演会 「伝えたい！森の中の放射性セシウムー10年で明らかになったことー」	国土保全・水資源研究担当ディレクター 玉井幸治	森林総合研究所	YouTube「森林総研チャンネル」で配信	2021年10月16日	HP（イベント）に掲載
3	LALAガーデンつくば“キッズデー”に出展しました	国土保全・水資源研究担当ディレクター 玉井幸治	森林総合研究所 広報普及科	LALAガーデンつくばのイベント「キッズデー」	2021年10月30日	HP（ニュース）に掲載
4	【募集！】2021年度 木を原料としたお酒の香りのアンケート協力者を募集します	複合材料研究領域 松原恵理	森林総合研究所	森林総合研究所	2021年11月21日～2021年12月11日	HP（ニュース）に掲載

注）研究成果については、いずれも国立研究開発法人森林研究・整備機構中長期計画に定める重点課題等に対応するものである。